平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月2日

上場会社名　日本管財株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9728　URL http://www.nkanzai.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 福田 慎太郎
問合せ先責任者　(役職名) 常務取締役財務部長　(氏名) 原田 康弘　TEL 03-5299-0863
四半期報告書提出予定日　平成30年2月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	70,607	4.9	4,379	8.1	4,915	14.4	3,431	15.7
29年3月期第3四半期	67,336	1.8	4,053	△2.6	4,297	△8.3	2,964	△9.9

(注) 包括利益　30年3月期第3四半期　4,652百万円　(86.1%)　29年3月期第3四半期　2,499百万円　(△20.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	99.79	―
29年3月期第3四半期	86.71	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	64,428	44,200	67.1
29年3月期	62,279	41,464	64.4

(参考) 自己資本　30年3月期第3四半期　43,244百万円　29年3月期　40,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	―	19.00	―	21.00	40.00
30年3月期	―	21.00	―		
30年3月期 (予想)				21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,300	4.1	5,800	5.0	6,400	7.3	4,300	1.7	125.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	41,180,306 株	29年3月期	41,180,306 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	6,796,690 株	29年3月期	6,796,030 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	34,383,843 株	29年3月期3Q	34,191,693 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しているものの、米国政権の政策動向や新興国経済の減速などの懸念材料も多く、先行き不透明な状況が続いております。

不動産関連サービス業界におきましては、オフィスや商業ビルの空室率は東京都心部や地方中核都市においても改善の兆しが見られ、一部のエリアにおいては賃料の反転上昇が確認されております。また、東京都心部を中心に複合ビルの建て替えプロジェクトが増加しており、当社がターゲットとする市場の将来的な拡大が見られます。

このような事業環境のもと、当社グループにおきましては、新規管理案件の受託では、競合他社との差別化が図りやすい付加価値の高い管理案件を重点的に開拓しております。既存管理案件では、リーマンショック以降、契約先の管理業務に対するコスト意識は残るものの、安全・安心や資産価値の維持・向上の観点から、契約先に対して従前から提供している管理サービスをより一層充実した内容へと進化・改良する提案を行い、業務クオリティの向上と業務範囲の拡張にも取り組みを強化しております。

また、主力のビル管理業務の一層の強化・向上を図るとともに、周辺事業においても、ＰＦＩ事業、省エネルギー事業、環境事業などへの積極的な事業展開を図っております。

当第３四半期連結累計期間の売上高は、既存管理案件の継続に加え、工事関連業務の受注も堅調に推移したことにより、706億7百万円(前年同四半期比4.9%増)となりました。

利益面におきましては、受託単価の伸び悩みや組織体制強化等による管理コストの増加の影響もありましたが、仕入単価の見直しや時間管理の徹底を図ったことにより、営業利益は43億79百万円(前年同四半期比8.1%増)、経常利益49億15百万円(前年同四半期比14.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益34億31百万円(前年同四半期比15.7%増)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(建物管理運営事業)

主たる業務であるビル管理業務及び保安警備の建物管理運営事業につきましては、既存管理案件の継続や工事関連業務の受託が堅調であったことにより、当第３四半期連結累計期間の売上高は611億52百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

利益面におきましても、受託単価の伸び悩みや工事原価の増加等の影響もありましたが、コスト管理の徹底を図ってまいりました結果、セグメント利益は65億円(前年同四半期比1.5%増)となりました。

(環境施設管理事業)

上下水道処理施設等の生活環境全般にかかる公共施設管理を主体とする環境施設管理事業につきましては、ゴミ焼却施設を中心に新規管理案件の受託や既存管理案件の契約更改が順調であったことから、当第３四半期連結累計期間の売上高は73億72百万円(前年同四半期比9.5%増)となりました。

利益面におきましても、高原価物件や仕入価格の見直しに加え、適正な人員配置を中心としたコスト削減に努めてまいりました結果、セグメント利益は9億28百万円(前年同四半期比19.0%増)となりました。

(不動産ファンドマネジメント事業)

不動産ファンドの組成・資産運用を行うアセットマネジメント及び匿名組合への出資を主体とする不動産ファンドマネジメント事業につきましては、運用資産の売却に伴う収益が発生したことにより、当第３四半期連結累計期間の売上高は3億77百万円(前年同四半期比7.9%増)となりました。

利益面におきましても、前述の運用資産の売却に加え、経費の節減や業務の効率化に努めてまいりました結果、セグメント利益は1億25百万円(前年同四半期比181.3%増)となりました。

(その他の事業)

イベントの企画・運営、印刷、デザインを主体としたその他の事業は、各種イベントの規模縮小や取引先のコスト抑制の影響はあったものの、大型業務の受託により、当第３四半期連結累計期間の売上高は17億4百万円(前年同四半期比37.6%増)、セグメント利益は2億78百万円(前年同四半期比65.9%増)となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の資産は、配当金や各種税金の支払いによる現金及び預金の減少、投資有価証券の時価評価による増加等により、前連結会計年度末に比べ21億49百万円(3.5％増)増加して644億28百万円となりました。

負債は、未払法人税等の支払いや借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べ5億86百万円(2.8％減)減少して202億28百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ27億35百万円(6.6％増)増加して442億円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.7ポイント増加し67.1％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、当社を取り巻く環境は、引き続き予断を許さない状況で推移することが予想されます。

業績予想に関しましては、概ね平成29年４月28日に公表いたしました業績予想のとおり推移しており、通期の業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成29年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成29年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,583,169	20,753,054
受取手形及び売掛金	11,721,211	12,435,964
事業目的匿名組合出資金	405,483	27,582
貯蔵品	114,599	121,275
販売用不動産	541,840	466,887
未収還付法人税等	53,251	112,480
繰延税金資産	404,773	92,624
その他	1,045,499	1,674,133
貸倒引当金	△11,281	△8,101
流動資産合計	35,858,544	35,675,898
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,341,402	3,291,432
機械装置及び運搬具（純額）	54,965	52,518
工具、器具及び備品（純額）	456,703	460,653
土地	1,083,183	1,154,050
リース資産（純額）	273,230	320,980
建設仮勘定	1,800	22,830
有形固定資産合計	5,211,283	5,302,463
無形固定資産		
電話加入権	46,451	46,526
ソフトウエア	394,582	329,635
のれん	2,111,188	2,006,367
リース資産	14,645	10,572
ソフトウエア仮勘定	27,050	59,871
無形固定資産合計	2,593,916	2,452,971
投資その他の資産		
投資有価証券	13,614,313	15,651,928
長期貸付金	490,357	545,030
長期前払費用	21,282	24,571
敷金及び保証金	2,779,660	3,011,169
会員権	395,833	394,518
退職給付に係る資産	672,803	803,864
繰延税金資産	278,624	292,568
その他	442,197	352,729
貸倒引当金	△79,057	△78,940
投資その他の資産合計	18,616,012	20,997,437
固定資産合計	26,421,211	28,752,871
資産合計	62,279,755	64,428,769

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成29年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成29年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,200,747	7,276,066
1年内返済予定の長期借入金	575,000	525,000
1年内返済予定の長期ノンリコースローン	10,000	10,000
リース債務	116,615	112,284
未払費用	2,309,369	2,667,128
未払法人税等	1,134,781	272,368
未払消費税等	659,155	720,971
預り金	290,747	769,198
前受金	299,151	289,312
賞与引当金	647,954	66,563
役員賞与引当金	1,068	－
繰延税金負債	－	1,271
その他	403,475	59,847
流動負債合計	13,648,062	12,770,008
固定負債		
長期借入金	2,350,000	1,968,750
長期ノンリコースローン	365,000	357,500
リース債務	179,840	226,121
繰延税金負債	1,072,268	1,561,822
退職給付に係る負債	526,753	466,512
長期預り保証金	1,690,000	1,906,150
資産除去債務	259,604	263,066
持分法適用に伴う負債	7,875	4,552
その他	715,816	703,813
固定負債合計	7,167,156	7,458,286
負債合計	20,815,218	20,228,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	618,090	646,943
利益剰余金	39,564,783	41,551,740
自己株式	△4,961,570	△4,962,844
株主資本合計	38,221,303	40,235,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,834,553	3,718,880
為替換算調整勘定	△729,421	△519,169
退職給付に係る調整累計額	△230,617	△191,264
その他の包括利益累計額合計	1,874,515	3,008,447
非支配株主持分	1,368,719	956,189
純資産合計	41,464,537	44,200,475
負債純資産合計	62,279,755	64,428,769

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成28年４月１日 至 平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成29年４月１日 至 平成29年12月31日）
売上高	67,336,499	70,607,228
売上原価	53,792,137	56,526,807
売上総利益	13,544,362	14,080,421
販売費及び一般管理費		
販売費	188,277	219,479
人件費	5,781,209	5,779,348
賞与引当金繰入額	40,389	47,637
役員賞与引当金繰入額	267	－
退職給付費用	72,850	94,152
旅費交通費及び通信費	718,153	743,748
消耗品費	287,393	291,463
賃借料	696,547	714,582
保険料	325,032	369,423
減価償却費	291,299	284,369
租税公課	71,824	77,865
事業税	202,132	198,453
貸倒引当金繰入額	△1,927	△2,985
のれん償却額	96,672	104,820
その他	720,907	778,088
販売費及び一般管理費合計	9,491,024	9,700,442
営業利益	4,053,338	4,379,979
営業外収益		
受取利息及び配当金	136,107	156,892
受取賃貸料	33,078	40,389
持分法による投資利益	170,492	343,524
為替差益	－	45,244
その他	89,873	51,682
営業外収益合計	429,550	637,731
営業外費用		
支払利息	24,572	21,135
投資有価証券売却損	97	－
賃貸費用	34,562	35,034
固定資産除売却損	1,412	27,283
為替差損	72,776	－
その他	51,905	18,626
営業外費用合計	185,324	102,078
経常利益	4,297,564	4,915,632
特別利益		
投資有価証券売却益	393,548	226,200
特別利益合計	393,548	226,200
税金等調整前四半期純利益	4,691,112	5,141,832
法人税、住民税及び事業税	1,256,102	1,304,462
法人税等調整額	363,637	324,635
法人税等合計	1,619,739	1,629,097
四半期純利益	3,071,373	3,512,735
非支配株主に帰属する四半期純利益	106,491	81,650
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,964,882	3,431,085

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成28年４月１日 至 平成28年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成29年４月１日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益	3,071,373	3,512,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,040	888,249
為替換算調整勘定	△87,417	△4,474
退職給付に係る調整額	25,865	41,006
持分法適用会社に対する持分相当額	△592,030	214,726
その他の包括利益合計	△571,542	1,139,507
四半期包括利益	2,499,831	4,652,242
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,390,572	4,564,985
非支配株主に係る四半期包括利益	109,259	87,257

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成28年４月１日　至　平成28年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額（千円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（千円）（注）２
	建物管理運営事業（千円）	環境施設管理事業（千円）	不動産ファンドマネジメント事業（千円）	その他の事業（千円）	計（千円）		
売上高							
外部顧客への売上高	59,017,134	6,730,405	349,635	1,239,325	67,336,499	—	67,336,499
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	59,017,134	6,730,405	349,635	1,239,325	67,336,499	—	67,336,499
セグメント利益	6,403,137	780,736	44,544	167,871	7,396,288	△3,342,950	4,053,338

（注）１　セグメント利益の調整額△3,342,950千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成29年４月１日　至　平成29年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額（千円）（注）１	四半期連結損益計算書計上額（千円）（注）２
	建物管理運営事業（千円）	環境施設管理事業（千円）	不動産ファンドマネジメント事業（千円）	その他の事業（千円）	計（千円）		
売上高							
外部顧客への売上高	61,152,288	7,372,893	377,306	1,704,741	70,607,228	—	70,607,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	61,152,288	7,372,893	377,306	1,704,741	70,607,228	—	70,607,228
セグメント利益	6,500,247	928,906	125,299	278,499	7,832,951	△3,452,972	4,379,979

（注）１　セグメント利益の調整額△3,452,972千円は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。